

17. 中学生・年齢別体位の推移（体重）

(その1)

各年度5月1日現在（単位：kg）

区分 年度	12才			
	男		女	
	県	全 国	県	全 国
令和元年度	45.1	44.2	44.6	43.8
令和2年度	46.5	45.8	44.9	44.5
令和3年度	45.6	45.2	45.0	44.4
令和4年度	46.1	45.7	45.3	44.5
令和5年度	46.4	45.8	44.8	44.5

(その2)

区分 年度	13才			
	男		女	
	県	全 国	県	全 国
令和元年度	49.7	49.2	47.6	47.3
令和2年度	51.1	50.9	47.8	47.9
令和3年度	50.2	50.0	47.4	47.6
令和4年度	50.9	50.6	47.2	47.7
令和5年度	49.8	50.6	47.9	47.6

(その3)

区分 年度	14才			
	男		女	
	県	全 国	県	全 国
令和元年度	54.0	54.1	49.4	50.1
令和2年度	55.5	55.2	50.0	50.2
令和3年度	56.1	54.7	50.1	50.0
令和4年度	54.8	55.0	49.9	49.9
令和5年度	56.1	54.9	49.4	49.8

注：平成30年度より、学校保健統計調査の発育に関する調査（発育状態調査票）が廃止されたため、市は調査を行っていない。
 全国・県については、文部科学省学校保健統計調査による（複数の学校を無作為に抽出し、調査を行う方法を取っている為、実数とは誤差が発生する場合がある）。

資料：文部科学省学校保健統計調査

18. 中央公民

《室別利用状況》

年度	室別		集 会 場		多 目 的 室		調 理 実 習 室	
	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
平成30年度	2,248	45,673	749	25,551	201	3,235	33	814
令和元年度	1,988	40,453	677	22,928	129	2,218	44	779
令和2年度	1,099	9,835	63	904	2	48	23	186
令和3年度	916	13,659	234	7,395	115	1,810	7	91
令和4年度	2,026	31,961	638	15,335	164	3,209	19	150
令和5年度	554	9,741	183	3,956	74	1,306	10	157

※令和4年度より展示室から多目的室へ名称変更しました。

19. 市民会館

《室別利用状況》

年度	大 ホ ー ル			会 議 室		
	開 館 日 数	利 用 日 数	利 用 率	開 館 日 数	利 用 日 数	利 用 率
令和元年度	308	98	31.8	308	38	12.3
令和2年度	42	3	7.1	42	1	2.4
令和3年度	126	22	17.5	126	11	8.7
令和4年度	289	85	29.4	289	22	7.61
令和5年度	0	0	0.0	0	0	0.0

注：開館日数＝総日数－休館日＋休館日に貸出した日数

資料：生涯学習課

休館日は新型コロナウイルスによる休館、改修工事に伴う休館、火曜日、年末年始

利用日数には準備及びリハーサルを含む

令和2年度は長期間の改修工事を行った

令和3年度は11月～3月まで改修工事を行った

令和5年度は改修工事を行った

20. 市立博物館来館者数

各年度末現在(単位：人)

区 分	来 館 者 数				
	合 計	幼 児	児 童 ・ 生 徒 (小 ・ 中)	学 生 (高 ・ 大)	大 人
平成30年度	33,776	2,585	6,599	1,743	22,849
令和元年度	34,743	2,517	13,818	1,470	16,938
令和2年度	8,147	234	2,742	151	5,020
令和3年度	10,973	310	4,361	357	5,945
令和4年度	19,319	538	5,165	545	13,071

注：令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、休館があった

資料：市立博物館

館 利 用 状 況

(単位:回・人)

視 聴 覚 室		研 修 室 (1)		研 修 室 (2)		児 童 室		図 書 室	
数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
516	6,283	186	2,710	420	5,527	143	1,553	—	6,480
487	5,801	160	2,339	364	4,664	127	1,724	—	6,254
228	2,060	221	1,845	361	3,514	201	1,278	—	2,469
161	1,466	156	909	204	1,750	39	238	—	1,341
440	3,639	242	2,247	434	3,634	89	606	—	3,141
107	1,022	66	764	84	841	30	223	—	1,472

資料：中央公民館

利 用 状 況

《用途別利用状況》

各年度末現在(単位：件)

用途別 年度	総 数	音 楽 会		演 劇	舞 踊		演 芸	映 画	式 典	講演会	各 種 大会	そ の 他	利用人員
		洋 楽	邦 楽		洋 舞	邦 舞							
令和元年度	57	14	13	12	1	1	0	2	2	2	5	5	41,825
令和2年度	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	318
令和3年度	22	0	4	0	0	3	5	0	0	1	0	9	4,670
令和4年度	85	14	3	5	7	3	13	0	11	7	4	18	21,419
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注：利用件数は、数日間利用する場合でも1件とする

資料：生涯学習課

2 1. 市民図書館利用状況

各年度末現在(単位：冊・人・日)

区 分 \ 年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
蔵書数	図 書	329,606	327,313	325,509	317,639	315,412
	視聴覚	14,748	15,034	15,331	15,421	15,257
	雑 誌	6,430	6,021	5,976	5,962	5,595
	計	350,784	348,368	346,816	339,022	336,264
登 録 者 数 (うち市民)		26,194 (25,397)	27,720 (26,909)	29,267 (28,386)	31,048 (30,077)	32,933 (31,893)
開 館 日 数		255	221	194	259	243
年 間 利 用 者 数 (1日当たり利用者数)		78,286 (307)	52,165 (236)	46,689 (241)	58,451 (226)	53,046 (218)
年 間 貸 出 冊 数 (登録者1人当たり貸出冊数)		309,322 (11.8)	253,612 (9.1)	230,677 (7.9)	277,486 (8.9)	253,936 (7.7)
市民1人当たり蔵書数		3.5	3.5	3.5	3.4	3.4

注：蔵書数（図書）には、絵画717点を含む

資料：市民図書館

22. 体育施設利用状況

その1 《使用料》

各年度末現在(単位:円)

施設名 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
体育館	25,221,440	15,038,150	35,569,610	22,100,890	10,861,620
野球場	3,144,970	2,564,090	2,758,730	5,037,770	5,365,700
屋内運動場	1,081,420	—	—	—	—
多目的運動場	5,471,030	8,862,250	7,228,800	10,341,100	9,904,240
グラウンド	2,099,920	388,760	468,280	970,500	1,102,220
計	37,018,780	26,853,250	46,025,420	38,450,260	27,233,780

資料:施設管理課

その2 《利用人数》

各年度末現在(単位:人)

施設名 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
体育館	185,593	58,653	89,999	54,902	46,190
野球場	40,079	11,556	23,987	64,509	66,285
屋内運動場	6,356	—	—	—	—
多目的運動場	2,240	35,689	19,337	33,699	35,153
グラウンド	35,987	14,611	12,939	25,588	28,268
計	270,255	120,509	146,262	178,698	175,896

注:令和元年10月9日に屋内運動場の解体工事完了
令和2年1月27日から多目的運動場の供用開始

資料:施設管理課

23. 屋外劇場利用状況

各年度末現在(単位:円・人)

区分 \ 年度	屋外劇場使用料	屋外劇場利用者数
令和元年度	3,945,810	26,167
令和2年度	1,149,430	3,643
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—
令和5年度	—	—

注:令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントの中止があった
令和3年度は解体工事のため、利用不可

資料:施設管理課

24. 国・県・市の指定・登録文化財

市内に所在する文化財は、永く私たちの市民の祖先が生成発展させてきたかおり高い市民環境の一部であり、地域の歴史と文化を知る大切な市民共有の財産でもあります。そのため、国・県・市では文化財保護法令や諸規則などを定めて、これら多くの文化財の中から市民にとっても重要なものを選んで指定・登録し、後世の子どもたちに残していくため保護を強めています。

国指定文化財

令和6年4月1日現在

名 称	所 在 等	内 容
ちゆんながー ①喜友名泉 (有形文化財〔建造物〕) 平成4年8月10日指定	喜友名： 県道81号線沿いの斜面緑地にある喜友名区の村泉（ムラガー）。	沖縄県を代表する石造湧泉である。イナグ(女)ガーとも呼ぶカーグーは日々の飲料水や洗濯に使われ、イキガ(男)ガーとも呼ぶウフガーではワカミジ(若水)・ウブミジ(産水)を汲み、牛馬に水浴びをさせた。
おおやまかいづか ②大山貝塚 (史 跡) 昭和47年5月15日指定	大 山： 大山集落の大事な拝所であるミスクヤマと呼ばれる山林にある縄文時代後期相当の遺跡。	1958(昭和33)年に賀川光夫氏と多和田眞淳氏により、沖縄県で初めて考古学的手法で発掘調査された遺跡である。約3000年前の地層から多量に出土した深鉢形土器は大山式土器と呼ばれ、沖縄の指標土器となっている。

県指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
おろくばか ①小禄墓 (有形文化財〔建造物〕) 昭和33年1月17日指定	嘉 数： 戦跡として知られる嘉数高台の北側、比屋良川沿いの断崖にある古墓。	断崖の中腹を掘り込んで、正面を石積みで塞いだ古式の墓である。葬儀の際には、正面中央の石積みを取り外し、棺を入れた御轎(ウチュウ：肩でかつぐ輿)ごと入れる。
おろくばかない いしずし ②小禄墓内石厨子 (有形文化財〔彫刻〕) 昭和33年1月17日指定	嘉 数： 小禄墓に納められている。中国産の石材(閃緑岩)製の大型蔵骨器。	蔵骨器の正面中央には、『弘治七年おろく大やくもい六月吉日』の銘文がある。弘治七(1494)年は沖縄最古級の平仮名文字である。全体に浮き彫りが施され、蓋には屋根瓦に火炎宝珠と龍、身には花活けを持った二人の童子や蓮弁などがあしらわれる。
ぎのわんし もりのかわ ③宜野湾市森の川 (名 勝) 昭和42年4月11日指定 平成12年5月19日追加指定	真志喜： 森川公園内に所在する真志喜区のムラガー(村泉)。村の聖地であるウガンヌカタも指定地内に所在。蔡度王の生誕にまつわる羽衣伝説で知られる。	湧き出した水が地面を削ってできた溪谷泉で、1725(雍正3)年に向氏伊江家(首里士族)により石造で整備された。1957(昭和32)年にはここを水源とする簡易水道が造られ、姿が変わってしまったが、その後の上水道整備と琉球政府による名勝指定により修復工事が行なわれ、現在の姿となった。

資料：文化課

市指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
おろくばか せきちようこうろ ①小禄墓石彫香炉 (有形文化財〔彫刻〕) 平成3年8月1日指定	嘉 数： 小禄墓の墓庭に置かれた輝緑岩(中国産の石材)製の香炉。	香炉の四面に火炎宝珠(又は太陽)や麒麟・花活け、四隅に獅子が浮き彫りされている。1806(嘉慶11)年に馮姓の士族より寄進された。
おろくばか せきちようしし ②小禄墓石彫獅子 (有形文化財〔彫刻〕) 平成3年8月1日指定	嘉 数： 小禄墓の墓庭に置かれた一対の閃緑岩製の石彫獅子。	未指定の閃緑岩製の香炉の両脇に置かれた石彫獅子。立ち上がった姿であるが、磨滅が著しく、元の姿がわかりづらい。本来は墓守として置かれたと思われる。
ましきさきまけもんじょ ③真志喜佐喜真家文書 (有形文化財〔古文書〕) 平成3年8月1日指定	真志喜： 琉球王国時代の「真志喜のろ(謝名のろ)」の生家である奥間家(屋号)に伝わる古文書。	琉球王国時代に、宜野湾間切西海岸一帯のムラの祭祀を司った地方女神官である謝名のろ職の継承や職名変更の経緯が記された文書で、人々の祖霊観等も記される。

資料：文化課

市指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
めいじ とちだいちょう ふぞくちず ④明治土地台帳附属地図 (有形文化財〔歴史資料〕) 平成3年8月1日指定	野 嵩 : 市立博物館保管の村図(大字図)10葉と宇地泊区保管の字図(小字図)3葉。	明治政府による土地改正に伴う土地台帳の附属地図として明治30年代に調整された。村図は6000分の1、字図は1200分の1の縮尺図で当時の土地利用や、区画の様子が詳しくわかる。
が に く ひーじゃーがー ⑤我如古ヒージャーガー (有形民俗文化財) 昭和51年4月2日指定	我如古 : 我如古区公民館の後方を流れる志真志川沿いの崖下にある区のムラガー(村泉)。	我如古の人々が共同で使う湧き水の中で最も古い湧泉と言われ、重要な聖地でもある。岩盤を削って平石をはめ込んだ15段の石段、湧泉を取り囲む積み石など、1892(明治25)年頃の石造建築である。
き ゆ な の いしじぐん ⑥喜友名の石獅子群 (有形民俗文化財) 平成元年3月31日指定 平成25年3月27日追加指定	喜友名 : 喜友名区の旧集落を取り囲む石獅子群。指定された石獅子は7体。	村獅子としては沖縄最多の7体の石獅子で、他にヒージャーグーやウフブタと呼ばれる石体があり、石獅子とあわせて邪惡なものから村を守る。
ふ てんま の ししまい ⑦普天間の獅子舞 (無形民俗文化財) 平成元年3月31日指定	普天間 : 普天間拝所にて旧暦七月十三・十五日、八月十五日に開催。また、普天満宮例祭にも開催される。	琉球国王尚元(1528～1572)から村興しの神として普天間に贈られた説や普天間の「赤馬」と野嵩の「獅子」を取り替えた説がある。細かい芸や演劇的な所作により構成される演技は多くの特徴がある。
おおじやなの ししまい ⑧大謝名の獅子舞 (無形民俗文化財) 平成元年3月31日指定	大謝名 : 戦前は旧暦七月十五日と八月十五・十六日の三回開催されたが、現在は大謝名公民館にて旧暦八月十五日と秋の公民館イベントにて開催。	踊りが素朴でかつ勇壮であり、四方へ吠えるという獅子本来の魔除けの性質を示すなど威厳さが保たれている。1976(昭和51)年に33年ぶりに復活した。
が に く すんさーミー ⑨我如古スンサーミー (無形民俗文化財) 平成7年12月27日指定	我如古 : 戦前は我如古平松の下で旧暦三月三日に行われていたが、現在は我如古区公民館で旧暦三月三日以後の週末に開催。	我如古の女性達が豊年と子孫繁栄を願って行う、サングウチャー行事の1つとして受け継がれた。スンサーミー・スーラキ節・今帰仁節の3曲の唄と踊りが指定されている。スンサーミーは四つ竹を打ちながら踊る。
の だけす でい ばな びらい し だたみ みち ⑩野嵩スディバナピラ石畳道 (史 跡) 平成元年3月31日指定 令和5年2月21日追加指定	野 嵩 : 野嵩の東端から中城村登又区に向けて、県道29号線を挟んだ東西斜面に敷かれた石畳道。	首里王府より旧中城間切を通り旧勝連・具志川間切に至る公道(宿道)で、路面には直径30cm前後の平らな石を敷き詰めて、勾配を10～16度に保っている。護佐丸・阿麻和利の乱に由来してスディバナピラ(袖離坂)とも呼ばれる。
の だけ く し め かー ⑪野嵩クシヌカー (史 跡) 平成元年3月31日指定	野 嵩 : 普天間(南)交差点を中城村向けに約300m進み、野嵩一丁目のバス停近くに所在。	野嵩区のムラガー(村泉)で、市内でも高い場所(標高81m)にある湧泉の一つである。壁面を布積みと相方積みで階段状に仕上げる。共同生活用水としてだけでなく、戦中・戦後の収容所時代には軍作業の洗濯場として使われた。
い さ はま しんぞうさあてんはしひ ⑫伊佐浜「新造佐阿天橋碑」 (史 跡) 平成元年3月31日指定	伊 佐 : 特別養護老人ホーム愛誠園の東側に延びる旧護岸のそばに立つ、「伊佐浜の碑文」と呼ばれる石碑。	琉球王国時代の「中頭方西海道」の公道整備の際に、北谷町北前区にあった佐阿天橋の新造を記念して1820(嘉慶25・尚瀨17)年に建立された。
おおやまうたきひ ⑬大山御嶽碑 (史 跡) 平成元年3月31日指定	大 山 : 国道58号沿いの株式会社ジミー後方の伊波家(屋号)の聖地であるウガングーに立つ石碑。	大山区の旧家のひとつ伊波門中の由来と拝みについて記され、1761(乾隆26・尚穆10)年に当時の宜野湾間切の上級役人層等によって建立された。
にしもりひき ⑭西森碑記 (史 跡) 平成3年8月1日指定	真志喜 : 県指定文化財である「宜野湾市森の川」のウガヌスカタにある石門の内側に設置された石碑。	尚清王ゆかりの伊江家が、先祖の徳をしのび、石門と森の川の石積み整備の完成を記念して、1725(雍正3・尚敬13)年に建立した。

資料 : 文化課

第10章 教育・文化

市指定文化財

名 称	所 在 等	内 容
おお じゃ な めーぬかー ⑮大謝名 メーヌカー (史 跡) 平成3年8月1日指定	大謝名： 大謝名区のムラガー（村泉）。周辺はナトゥダバル（港田原）と呼ばれ、かつては入江だった。大謝名小学校の正門近く。	3本の樋口が整備され大謝名の人々が生活用水や人生儀礼に係る水を汲んだムラガー。周囲は3段の野面積みで土留めをしている。カーへ下りるカービラの25段の石段もきれいに残っている。
い さ たけ たう ばる めい の しる び ど て ⑯伊佐「たけたう原」銘の印部土手 (史 跡) 平成3年8月1日指定	喜友名： パイプライン伊佐向けの山手側、普天間飛行場近くの佐渡山音楽教室より道沿いに約100m山手側をのぼり、西側の山林内に所在。	琉球王国が独自で実施した元文検地（約250年前）の土地測量の際に設置された図根点である。根張石で土留めされた土手に原名と記号が彫られた印部石が設置されている。
おおやまやー がまどうけつせい ⑰大山マヤーガマ洞穴遺跡 (史 跡) 平成11年2月23日指定	大 山： 普天間飛行場の大山ゲート近く、大山区の「醴泉之塔」の北隣に所在。	出土した遺物（人骨・副葬品、生活用品、蔵骨器等）より約3000年前に墓として利用されたのを始めとして、生活の場、墓、と時代により利用法が違ふことや、墓利用も時期により埋葬方法が違ふ事が確認できた。
も と ぶ う どう ん ば か ⑱本部御殿墓 (史 跡) 令和3年2月25日指定	我如古： 宜野湾市と西原町との市境近く、沖縄病院の道向かい、しいの実保育園南側の丘陵上に所在する。	第二尚氏王統第十代尚質王の六男・尚弘信、本部王子朝平を元祖とする亀甲墓で、市内の古式亀甲墓と類似する。元祖朝平が洗骨された1694（康熙33）年に降に造墓されたと推察されている。
ふ て ん ま ぐ う どう け つ ⑲普天満宮洞穴 (名 勝) 平成3年8月1日指定	普天間： 旧琉球八社の一つ、普天満宮の境内にある洞穴で、洞穴内には拝所の奥宮が所在。	全長280mを測る洞穴で、つらら石や石柱などの鍾乳石が発達している。入口付近には数万年前のシカの化石や縄文時代相当の遺物などが出土する。
おお じゃ な めーぬかー たん すい こう そう ⑳大謝名メーヌカー淡水紅藻 (天然記念物) 平成3年8月1日指定	大謝名： 上記の大謝名メーヌカーの樋（水口）と湧き水の落ちる底石に生育する。	2種の淡水紅藻（オオイシソウ、タニコケモドキ）が生育。本市の豊かな湧泉と河川を特徴づける植物で、本市の地勢の成り立ちを教える生きた化石でもある。いずれもレッドデータブックに掲載されている。
う で な が さ わ だ む し ㉑ウデナガサワダムシ (天然記念物) 昭和51年5月29日指定	市全域： 「宜野湾市森の川」後方のマヤーアブと宜野湾市野嵩一区にあったターバルガマと呼ばれるガマ（洞穴）に生息。	湿度が高くて暗い場所に適応した体長5～6mmの小さな虫で、クモやサソリの仲間である。トビムシなどの小さな生き物を食す。移動力が極端に弱いので、地史を語る貴重な生き物。

資料：文化課

市登録文化財

名 称	所 在 等	内 容
か み や ま ・ あ い ち ぬーるがー ①神山・愛知ヌールガー (有形民俗文化財) 平成25年3月28日登録	愛 知： 普天間飛行場の近く、宜野湾小学校脇の道を通り、あいのもり保育園の裏手側斜面に所在。	宜野湾ノロに関わる湧泉という伝承があり、当初は宜野湾のカリカル（嘉手苺・屋号）が管理していたようである。戦前までは神山集落の旧家が崇拝し、戦後は字神山郷友会がハチウビー（初御水）の祭祀で拝んでいる。愛知では、ウブガー（産泉）として敬っている。
あ ぎ ぎ の わ ん の ね ん ち ゅ う さ い し ②字宜野湾の年中祭祀 (無形民俗文化財) 平成26年8月15日登録	宜野湾： 「土帝君例祭」は宜野湾区公民館裏の土帝君で旧暦2月2日に。「カーサレー拝み」は普天間飛行場内のウブガーで旧暦6月25日に。「シマクサラシ」は宜野湾区内で旧暦8月10日に行われる。宜野湾区自治会と字宜野湾郷友会が合同で行う。	戦前まで字宜野湾で行っていた年中祭祀のうち現在まで受け継がれている3つの祭祀。「土帝君の例祭」では豊作と集落の安寧を祈願し、「カーサレー拝み」ではウブガー（産泉）の清掃を行い、「シマクサラシ」では集落内に入ってくる悪い伝染病を防ぐことを祈願する。
き ゅ な ぐ す く こ う る ぐ ん ③喜友名グスク香炉群 (有形民俗文化財) 令和6年8月22日登録	喜友名： 合祀祠（お宮） 喜友名グスクに複数所在していた拝所に安置されていた香炉を米軍のハウジング建設により合祀所に移設した。	喜友名グスクに複数所在していた拝所に安置されていた香炉のうち16基は首里王府時代に製作されており、当時の人々の信仰に深く関わっていた。現在もハウチビー（初御水）やウマチーの際に巡拝されている。

資料：文化課